２年次研究の大前提

９つの資質・能力を育成するための手だてが有効に働いていて、期待する子どもの姿が見られるような学習を繰り返せば、９つの資質・能力が身につく。

２年次研究の成果と課題

重点１：構築

各教科等で意識的に9つの資質能力の育成を図ることができた。

重点２：検証

新しい授業評価の枠組みの構築

手立て集の作成

重点３：評価

教師の見取り
児童のふりかえり
意識調査

9つの資質・能力が児童に浸透していない
学習方法の転移は難しい
資質・能力が育成されたかわからない

３年次の大前提

児童が9つの資質・能力を理解し、
それらを意識的に発揮することができれば、どんな場面でも9つの資質・能力を活用できるようになる。

重点1

3年次の大前提

児童が9つの資質・能力を理解し、
それらを意識的に発揮することができれば、どんな場面でも9つの資質・能力を活用できるようになる。

重点1

重点2

3年次の大前提

児童が9つの資質・能力を理解し、
それらを意識的に発揮することができれば、どんな場面でも9つの資質・能力を活用できるようになる。

3年次の大前提

児童が9つの資質・能力を理解し、それらを意識的に発揮することができれば、どんな場面でも9つの資質・能力を活用できるようになる。

３年次研究の重点

重点１

９つの資質･能力育成のための学習方法の共有

重点２

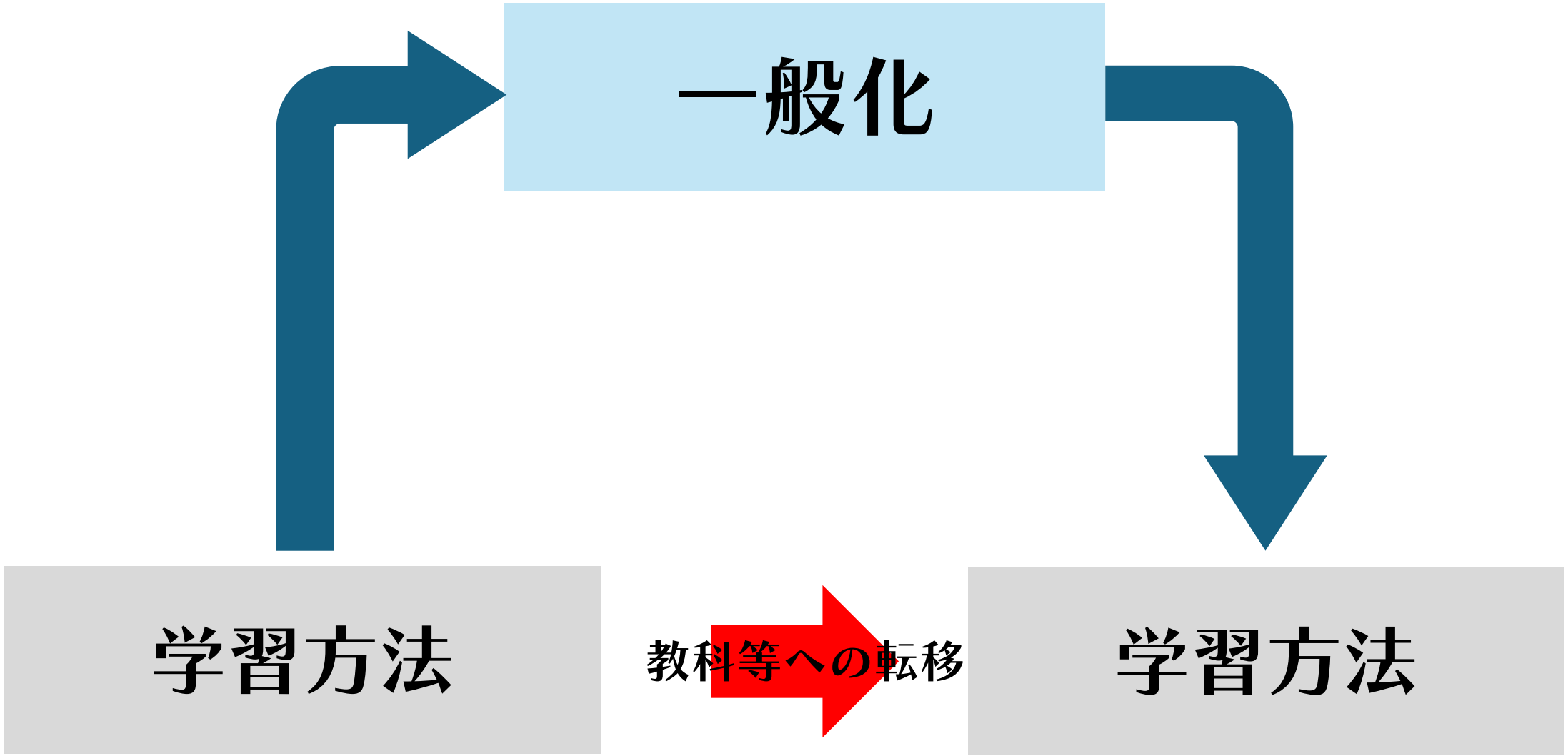
９つの資質･能力を活用することを経験させる

重点３

評価の工夫

新しい未来を 牽引する子

～9つの資質・能力の活用と探究的な学び～

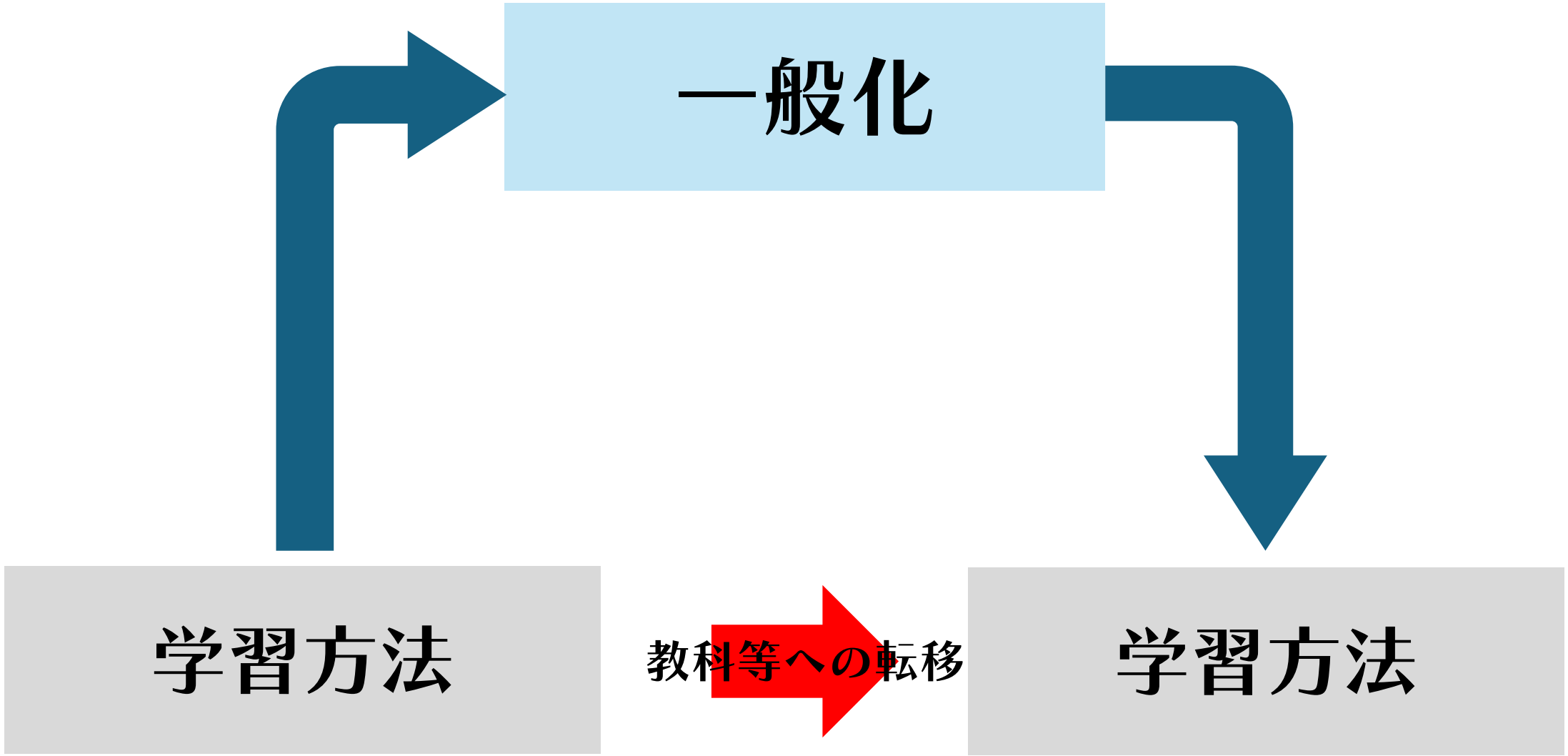

一般化
学習方法
教科等への転移
学習方法

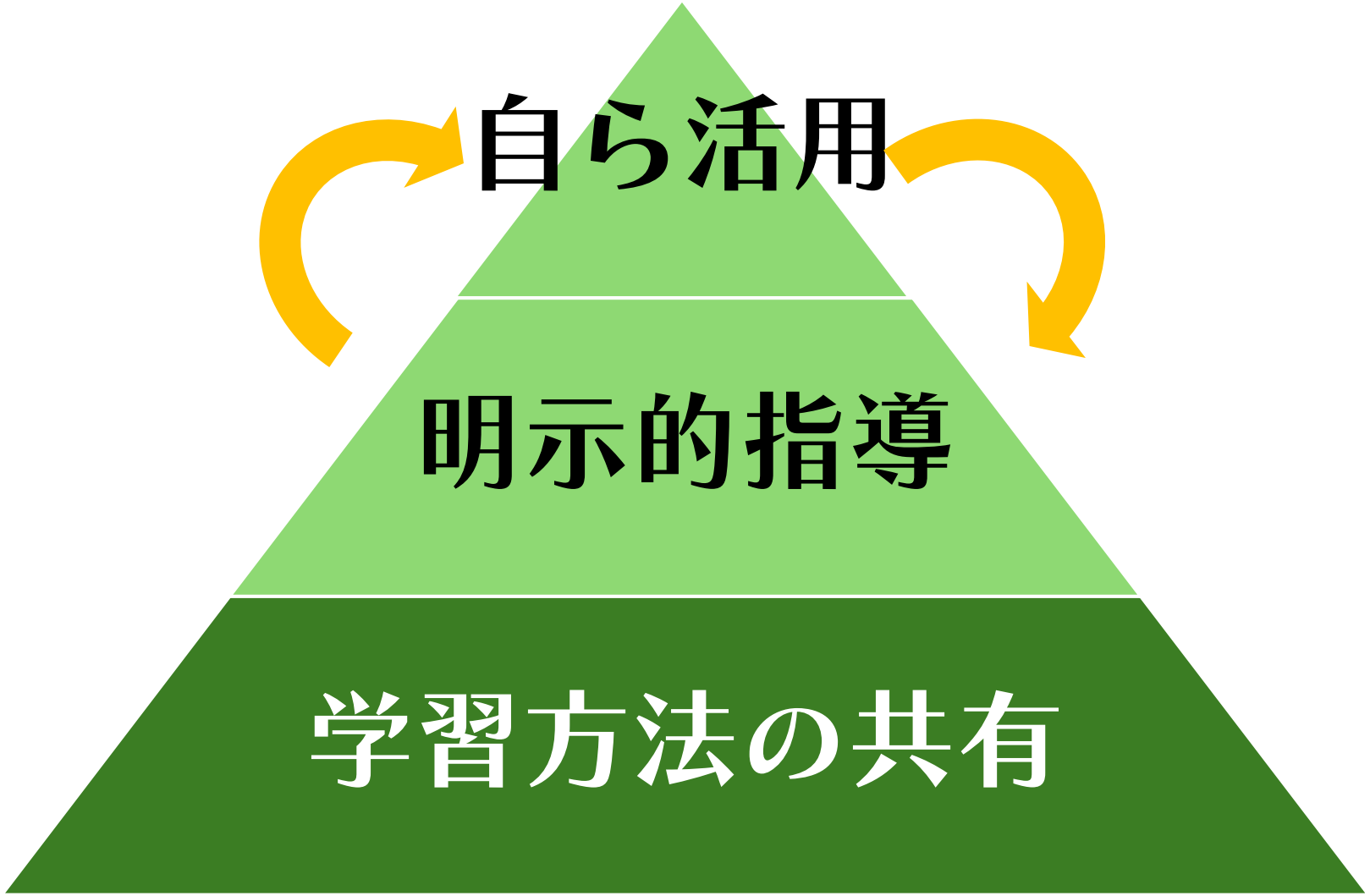
重点1

9つの資質･能力育成のための学習方法の共有

・９つの資質・能力についての共通理解
　→子どもに浸透させる

・子ども自身に学習方法をふり返らせる
　→一般化された学習方法を蓄積する


一般化
学習方法
教科等への転移
学習方法

重点2

9つの資質･能力を活用することを経験させる